

# 妙安寺だより 319

テレフォン法話 092-751-60

84 (毎週月曜日に話が変わります)

〔 ③ 〕

の四衆 及びをはして を供養せしめ 諸の衆生を引導して を集めて法を聴かしめん 若し 及びを加へんと欲せば 則ち変化の人を遣はして 之が為にとさん  
(法師品第十)

の時にのより をしてめてはく 釈迦牟尼世尊 く・・・の妙法華経をて 大衆の為に説きたまふ のし是の如し 釈迦牟尼世尊の如きは 皆是れ真実なり (見宝塔品第十一)

わたしは、僧と尼と清らかに信仰している男女の信徒をつかわして、仏の教えを修行し、広めて仏の道を歩んでいる人たちを供養し、さまざまな人びとを仏の道に導き入れて、これらの人びとを集めて仏の教えを聞かせようとしているのです。

もし人が、悪い心を起こして、刀や杖をふるったり、瓦や石を投げつけて危害を加えようとしたならば、すぐさま人の姿に身を変えた使いをつかわして仏の教えを信じ広めるものを護り通すでしょう。

このように仏が語られたとき、宝塔の中より大きな声を出して、多宝如来はこう褒めたたえられました。

よく言われた。よく申された。釈迦牟尼世尊。

平等で大きな智慧を備え、身と心を捧げて、仏の教えを広める菩薩のための教えであり、仏が護り念ずる法華経を広くあらゆる人びとに説かれました。

その通り、その通りなのである。釈迦牟尼世尊が説かれた教えは、すべて皆、真実なのである。

お釈迦さまは、多くの苦しみが充ちあふれているこの世で、憂いなやんでいる衆生を自分の子供として、救い導かれ、仏の教えを説いて、悟りの世界に導き、いろんな困難にあっても、さまざまな手だてを尽くして、必ず守り通すことを明らかにされています。

衆生を救うために、智慧と慈悲心の具わっている法華経こそが、お釈迦さまの説かれた真実の教えであるということを実証されました。

## 三月の行事案内

3月24日(木曜日) 春季お彼岸お施餓鬼法要

正午より お 齋

午後 1時 春季お彼岸お施餓鬼法要

午後 2時 法 話

お彼岸法華経読誦会

3月18日(金) お彼岸の入り 午前11時 午後2時

3月21日(月) お彼岸の中日 午前11時 午後2時

ご自由にお参りください。

※ソトバ供養ご希望の方は、早めにお申し込みください。

郵送またはFAX（092-751-4055）にてもお申し込みできます。

### 「塔婆建立の功德」

塔婆には、まず南無妙法蓮華經とお題目と、その下に戒名（法号）を書き、裏には法華經の一句をしたため、供養した方の名前（施主）を書き、読経した後に各自が自分の家のお墓に供えます。

お題目を書いた後に「〇〇の靈位追善供養（菩提）」と書き入れますが、これは、仏さまの姿をきざみ、仏さまの暑さをふせぐ傘をさしかけた、という善行を積んで得た功德を、その精靈に手向け、菩提を弔うためです。

塔婆を立ててもらった精靈は、苦しみを逃れ、安らかな境地に安住することが出来るのです。

また、塔婆を立ててもらった精靈、助けてもらい救ってもらった精靈は、必ずやその恩返しをしてくれます。

私たち、生きている人間を、より以上に守護してくれますから、わたしたちは、より幸福になり、寿命ものび安穩な生活を毎日送ることができるのです。